

Close Up

「音楽で暮らしに感動を届ける」ザ・シンフォニーホールの情報誌

Vol.36

2019 11月 - 2020 1月

2019 11/10 発行

TAKE FREE

開催迫る! 12月の豪華ラインナップ

ギル・シャハム ヴァイオリン・リサイタル

3大協奏曲 2020 ～次世代を担う未来の巨匠たち～

ほか

キエフ国立フィルハーモニー交響楽団

ザ・シンフォニーホール

カウントダウン&

ニューイヤーコンサート

2019
|
2020



- 02 ザ・シンフォニーホール 12月の豪華ラインナップ&「第九」コンサート
06 ザ・シンフォニーホール カウントダウンコンサート 2019-2020&ニューイヤーコンサート 2020
10 3大協奏曲 2020 ～次世代を担う未来の巨匠たち～
12 大植英次 ×「英雄の生涯」
14 外山雄三 ドヴォルザーク 交響曲 第8番&第9番
15 巨匠ギル・シャハム 初リサイタルがついに実現!! ギル・シャハム ヴァイオリン・リサイタル
16 プロジェクション・マッピング×パイプオルガン 大人気「超絶シリーズ」の最新作!!
今年もパイプオルガンがスゴすぎる!! 超絶のボヘミアン・ラブソディ QUEEN×ABBA
17 バッハ国際コンクール優勝 富田一樹 バッハ名曲決定版
18 日本センチュリー交響楽団×ザ・シンフォニーホール Vol.8
3B バッハ×ベートーヴェン×ブラームス
19 外村理紗 ヴァイオリン・リサイタル
20 elegy 横坂 源 チェロ・リサイタル
21 川井郁子 シンフォニック コンサートー情熱ー
22 三浦一馬 (バンドネオン) 東京グランド・ソロイツ in 大阪
24 ニューイヤー祝祭コンサート 2020「カルメン」「トスカ」「椿姫」「蝶々夫人」
長富 彩 ピアノ・リサイタル Vol.4 「リスト、超絶名曲選」
25 クラシック×ジャズ 2020 細川千尋 プレイズ・ビル・エヴァンス ラヴェル・ジャズ
荒庸子 チェロ・リサイタル 2020 想い出がいっぱい 珠玉のシネマ名曲SELECTION VOL.6
26 ABCテレビ主催公演・イベント情報
30 日本センチュリー交響楽団
32 welcome more musicians! 音楽を愛する団体が集うザ・シンフォニーホール
33 ホールトビックス
34 堀江政生のシンフォニア・アワーVol.36
35 Concert Calender 2019.11～2020.1

11月のSinfonia会員先行予約

●先行予約：11月21日 (木) 10:00AM～

※Sinfonia会員先行予約期間中は、電話・WEBのみのご予約となります。

※ザ・シンフォニー チケットセンター窓口、館内プレイガイドでの販売はございません。

※Sinfonia会員先行期間中にご予約されたチケットは、すべて郵送でのお届けとなります。

●電話：ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
(10:00～18:00 火曜定休)

●WEB：http://www.symphoniahall.jp/

登録費
年会費
無料!

シンフォニア会員登録方法

シンフォニア会員にご登録いただきますと、先行予約のご利用、シンフォニアのお届け、メールマガジンの受け取り等お得な特典をご利用いただけます。ぜひご登録ください!

▼WEBサイトからのご登録

ザ・シンフォニーホール ホームページ
<http://www.symphoniahall.jp/> からご登録下さい。

▼ハガキでのご登録

定型ハガキに下記の情報を記載いただき、63円切手を貼付の上、ポストに投函ください。
【定型ハガキ要】1.お名前(フリガナ付き)、2.性別、3.郵便番号、4.住所、5.電話番号、6.メールアドレス(メールマガジン受取りの場合)
【定型ハガキ表】531-8501 大阪市北区大淀南2丁目3-3 ザ・シンフォニーホール「シンフォニア」係
※手続を完了後、約2週間で会員番号のお知らせと、シンフォニア断断号をお送り致します。

※携帯端末のメールアドレスをご登録いただく場合、受信設定をしている方はメールが受信できない場合がございます。[@symphoniahall.jp]をドメイン指定受信して下さい。指定方法はご利用の携帯電話会社にお問い合わせください。

【お客様の個人情報取り扱いについて】株式会社ザ・シンフォニーホールでは、次に掲げた内容にしたがって、個人情報の保護に努めています。○お客様からご提供いただいた個人情報については、個人情報に関する法令、規範に則り適正に管理いたします。○お客様からいただいた個人情報とは、以下の目的のために使用し、それ以外には一切使用いたしません。(1) シンフォニア会員様への情報誌「シンフォニア」および関連する印刷物の発送 (2) ザ・シンフォニーホールで開催する催事をご案内する印刷物の発送 (3) ホールなど施設の利用に関するご案内、ご連絡 (4) ザ・シンフォニーホールの事業、サービスの開発・改善を目的とした調査・研究のためのアンケートの送付・分析・データ集積 (5) チケット予約販売に伴う、ご本人確認およびご連絡 (6) 株式会社ザ・シンフォニーホールに関するご案内の発送○個人情報の提供はご自身の意思でご本人様が行うものといえます。○お客様の個人情報、通正かつ迅速に処理するため、その作業を外部の企業に委託して行うことがあります。その場合、委託先において個人情報と安全に管理されるよう適切に監督します。

※記載内容は変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

大人気パイプオルガン×マッピングコンサート!
何が飛び出すかお楽しみ!!
ドキドキ&ワクワクのクリスマスギフト。

今年のクリスマスイヴの予定はお決まりですか?
ファミリー、恋人、お友達…それぞれ大切な人と過ごすのにぴったりなのが、このコンサート!

ザ・シンフォニーホールが誇るパイプオルガンで演奏されるのは、荘厳な響きを味わえるバッハの名曲から聴き馴染みのあるクリスマスメドレーなど、バラエティに富んだクリスマス・キャロルの数々。華やかなプロジェクション・マッピングも加わり、めくるめく感動の瞬間が待ち受けています。

クリスマスGIFTとしてもぴったり!大切な人の笑顔と一緒に、ロマンチックなイヴを過ごすことができますでしょう。

発売中

【オルガン】大木麻理

ジョーンズ:「もろびとこぞりて」による変奏曲★/J.S.バッハ:主よ、人の望みの喜びよ BWV147/J.S.バッハ・C.グノー:アヴェ・マリア/チャイコフスキー:「くるみ割り人形」より★“金平糖の精の踊り”“花のワルツ”/フランスのキャロル★荒野の果てに/クリスマスメドレー★神の御子はーホワイトクリスマスー赤鼻のトナカイーサンタクロースがやって来た/ヴィドール「オルガン交響曲 第5番」より“トッカータ”★＝プロジェクション・マッピング付き

※休憩なし。約60分間のコンサートです。

※4歳以上のお子様からご入場可能です。

2019.12/24 (火) 7:00 PM
全席指定 2,750円 (税込)

【ご予約・お問合せ】ザ・シンフォニー チケットセンター
06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニーホール

毎年完売必至のオルガンコンサート。
心をホッと温めてくれる優しい音色、
年に一度、どうしても聴きたいハーモニー

発売中

【オルガン】大木麻理

ヘンデル:オラトリオ「メサイア」HWV56より ハレルヤ/J.S.バッハ・グノー:アヴェ・マリア/J.S.バッハ:コラール「主よ、人の望みの喜びよ」BWV147/トッカータとフーガニ短調 BWV565/レーガー:クリスマスの夢(きよしこの夜)/クリスマスメドレー:神の御子は今宵しもーホワイトクリスマスー赤鼻のトナカイーサンタクロースがやって来た/C-M.ヴィドール:オルガン交響曲第5番へ短調 op.42-1より トッカータ

※休憩なし。約60分間のコンサートです。

2019.12/14 (土) 7:00 PM
全席指定 2,200円 (税込)

【ご予約・お問合せ】ザ・シンフォニー チケットセンター
06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニーホール

プロジェクション・マッピング × パイプオルガン

GIFT

～クリスマス・キャロル 2019～

荘厳なバッハの名曲から
とっておきのクリスマスメドレーまで!
きらびやかな光と音色に包まれるロマンチックなイヴの夜

ザ・シンフォニーホール ★
クリスマス オルガンコンサート 2019

あわせて
チェック!!

3732本のパイプから豊かなオルガンのハーモニーが響き渡ると、ホールは一瞬にして幻想的な世界が深まる。他にはない、この美しい音色を味わうべく多くのお客様が足を運び、毎年完売を記録するザ・シンフォニーホールのクリスマスオルガンコンサート。

今年はオルガニストの大木麻理が初登場し、クリスマスムードをよりいっそう高める、温かで優しい音色を届けてくれる。オルガンの魅力を存分に堪能していただきたい。

開催迫る!! ザ・シンフォニーホール12月の豪華ラインナップ

12/24 (Tue) 大阪交響楽団 0歳児からの`光と映像で楽しむオーケストラ、Vol.16
『まるごと`くるみ割り人形、』クララのクリスマス

パパとママ、おじいちゃんとおばあちゃんも大興奮!
ファミリーで素敵なイヴを迎えましょう。

[指揮] 鈴木恵里奈 [歌のお兄さん・お姉さん] 新井宗平、山本かずみ
[バレエ] 午前の部: 下川三和子(野間バレエ団)、
午後の部: 荒瀬結記子(野間バレエ団)

チャイコフスキー: バレエ音楽「くるみ割り人形」より 序曲 ★◆/ 行進曲◆/ くるみ割り人形と二十日ねずみの戦闘/ 冬の松林(クリスマスツリーの中で) ◆/ おんがくリズムあそびコーナー/ ロシアの踊り(トレパーク) ◆/ 花のワルツ★/ 金平糖の踊り◆/ 終幕のワルツとアボテオース ◆ ★プロジェクション・マッピング ◆バレエつき

2019.12/24(火) 午前の部: 11:00AM / 午後の部: 2:00PM
S おとな 2,500円 A おとな 2,000円 B おとな 1,500円
S こども 1,500円 A こども 1,000円 B 小学生 800円 (税込)
※こども…0歳児から小学生 ※B席は未就学児不可 ※乳幼児のお子様(お膝の上でも)も必ず座席表をご購入ください。 ※休憩なし。約60分間の公演です。
[お問合せ] 公益社団法人大阪交響楽団 072-226-5522
[主催] 公益社団法人 大阪交響楽団/ザ・シンフォニーホール

発売中



新井宗平、山本かずみ



0歳から、プロのオーケストラ演奏を聴くことができる、大阪交響楽団とザ・シンフォニーホールがタッグを組んでお届けする、大人気コンサート「0歳児からの`光と映像で楽しむオーケストラ」。開催スタートから5年、リピーターも増え続け、人気を博しています。
その人気の秘密は、毎回テーマの異なる内容で開催されることに加えて、「ホール入口にベビーカー置き場を設置」、「授乳室・おむつ替え室を完備」、「演奏中にお子様も泣いても大丈夫!」という3つのポイントがあるから! ホールに入った瞬間からお帰りにするまで、安心してコンサートを楽しむことができます。
コンサートが始まる前には、歌のお兄さんとお姉さんと一緒に歌って楽しむロビーコンサート、さらには、楽器体験コーナーもあり、お子様を飽きさせません。

今回はクリスマス・イヴの日
に開催!! テーマは60分まるごと「くるみ割り人形」です。クリスマス・イヴの夜に、主人公クララが見た夢をお届けします。ザ・シンフォニーホールのプロジェクション・マッピングの映像、堺市を本拠地に活躍する野間バレエ団のバレリーナによる舞い、フルオーケストラの迫力満点の贅沢なサウンド!
お子様が見て、聴いて、心で感じるることができる、特別なイヴの1日になること、間違いなしです!

12/29 (Sun) 令和元年 年越しスペシャル オールスター 関西オペラ歌合戦

令和元年を祝してパワーアップ!
今年は“鶴組・亀組”に分かれて夢の対決!

[指揮] 鈴木恵里奈 [司会] 堀江政生、八塚彩美
【鶴組】[ソプラノ] 植田加奈子、尾崎比佐子、木澤佐江子、日下部祐子、斉藤言子、白石優子、林 佑子、古瀬まき子、松浦綾子
[メゾソプラノ] 荒田祐子、名島嘉津栄、西原綾子 [バリトン] 福嶋 勲
【亀組】[テノール] 清原邦仁、小餅谷哲男、二塚直紀 [バリトン] 井上敏典、大谷圭介、田中 勉、田中由也、西尾岳史、梶 貴志、森 寿美
[バス] 湯浅貴斗 [ソプラノ] 森井美貴

2019.12/29(日) 3:00PM
S 7,150円 A 6,050円 B 4,950円 (税込)
[お問合せ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[主催] オールスター関西オペラ歌合戦実行委員会

発売中



、オール関西の名のもとに、フレッシュな顔ぶれからベテランまでオペラ歌手が一堂に会し、名曲を次々と披露していく、関西オペラ歌合戦。今年は、令和元年という新しい時代を迎え、そのめでたい年を祝し、さらにバージョンアップした『関西オペラ、鶴亀、歌合戦』が新たに誕生する。

長寿と繁栄のシンボルでもある、鶴亀。このコンサートが未永く関西のファンの方から愛されることを願って、今年は「鶴組」「亀組」に分かれて、実力派歌手がステージを華やかに彩る。

鶴組のリーダーは、ソプラノ歌手の斉藤言子、亀組のリーダーは、バリトン歌手の田中 勉が務め、関西二期会、関西芸術振興会、関西歌劇団、堺シティオペラという各団体の看板歌手から注目の若手歌手まで、総勢25人の実力派が集結するから圧巻だ。

プログラムは、名立たるオペラのアリアの数々。令和という新しい時代を祝して、三重唱、四重唱、男女混合重唱も披露されるので、注目したい。大阪交響楽団による壮大なオーケストラサウンドと迫力ある歌声のハーモニーは、きっとここですりか聴けない、贅沢なものだろう。

昨年に続き、鶴か亀か、勝敗の行方をホールの中で決することができ、このコンサートの魅力のひとつ。オペラ愛好家だけに限らず、来場者全員で楽しめる、盛大かつアットホームな歌合戦。夢の対決をお楽しみに!

The Symphony Hall Special Selection

12/13 (Fri) Noel クリスマス・リサイタル ソプラノ・小林沙羅

清らかな美声で聴く、アヴェ・マリア。
クリスマス気分をたっぷり味わってほしい。

[ソプラノ] 小林沙羅 [ピアノ] 河野紘子

フランク: 天使のパン/ シューベルト: アヴェ・マリア/ カッチーニ: アヴェ・マリア/ J.S.バッハ=グノー: アヴェ・マリア/ クリスマス・メドレー/ アンバーディング: クリスマス/ マルクス: マリアの歌/ レーガー: マリアの子守歌/ モーツァルト: アヴェ・ヴェルム・コルプス/ 賛美歌 アメイジング・グレイス/ 唱歌 冬の夜 ほか

2019.12/13(金) 7:00PM
全席指定 3,300円 (税込)
[お問合せ] ザ・シンフォニーチケットセンター 06-6453-2333
[主催] ザ・シンフォニーホール

発売中



ソプラノ・小林沙羅

©NIPPON COLUMBIA

オルガンコンサート、歌合戦コンサート、カウントダウン&ニューイヤークンサートなど、ザ・シンフォニーホールの冬の恒例コンサートが人気を博しているなか、冬の新企画として登場するのが、この「Noel クリスマス・リサイタル」。

一流の美声をたっぷりご堪能いただくべく、満を持して開催がスタートする。初回到登場するのは、小林沙羅。凛とした気品ある佇まい、艶やかで美しい歌声でデビュー以来高い評価を受けてきた。現在は、コンサート、リサイタル、オペラの様々な作品にも挑戦し、聴くものの心を惹きつけている。

「Noel」とは、クリスマスを意味する。そのタイトルどおり、プログラムには、クリスマス気分を存分に堪能することができ、クラシック初心者でも上級ファンでも楽しめることができるだろう。

なかでも、シューベルト、カッチーニ、バッハ=グノー、モーツァルトの「アヴェ・マリア」を一度に聴くことができるのが、大きなポイント。小林の歌声で聴く、愛に満ちた祈りの歌は必聴だ。その他にも、とっておきのクリスマスメドレー、唱歌「冬景色」「冬の夜」、山田耕柊「ベチカ」など、豊富に披露していく。日本語歌唱も得意とする、冬の歌にも注目をしてほしい。

「家族と、お一人でも、恋人と一緒にでも、クリスマス気分を満喫していただけると嬉しいです」
ここでしか聴くことができない、特別な歌々を楽しみにしてほしい。

12/19 (Thu) 古澤巖×ベルリン・フィルハーモニー ヴィルトゥオージのクリスマス

名手の絶妙な表現と圧巻の五重奏。
濃密なコラボを今年も!

[ヴァイオリン] 古澤巖
[弦楽] ベルリン・フィルハーモニー ヴィルトゥオージ

ロベルト・ディ・マリーノ: マリーノコンチェルト第5番(新曲)/ Limpida~潤いの時~
ジョルジュ・エネスク: ルーマニアン・ラプソディ ほか

2019.12/19(木) 7:00PM
S 6,500円 A 5,000円 (税込)
[お問合せ] キョードーインフォメーション 0570-200-888
[主催] NHKプラネット/ザ・シンフォニーホール

発売中



ヴァイオリン 古澤巖



弦楽 ベルリン・フィルハーモニー ヴィルトゥオージ

世界最高クラスのボーダレスなコンサート。それが「古澤巖×ベルリン・フィルハーモニー ヴィルトゥオージ」の公演だ。

古澤巖は、東京都響のコンサートマスターも務めたクラシック界の実力者だが、葉加瀬太郎との共演を皮切りにジャンルを拡大。あらゆる音楽の素晴らしさを幅広いファンに届けている。

完璧な技巧と艶やかな音色を生かした演奏は、まさに変幻自在。特に陶酔的な節回しは万人を魅了してやまない。ベルリン・フィルハーモニー ヴィルトゥオージは、世界の頂点に立つベルリン・フィルの選抜メンバーによる室内アンサンブル。もろんテクニクは極上だし、1979年以来40年に及ぶ活動が絶大な支持を物語る。彼らもまた、タンゴなどにレパートリーを広げ、今回と同じ弦楽五重奏の形では、6年に亘る古澤巖との濃密なコラボで人気を博している。

今回の公演も、恒例のクリスマス・コンサート。新曲を毎年提供しているイタリヤの天才作曲家マリーノの「コンチェルト第5番」が初披露されるほか、民族色が楽しい「ルーマニアン・ラプソディ」など多彩な名曲を堪能させる。

古澤が弾くストラディヴァリウスの豊麗な音色も大いなる聴きもの。名手の絶妙な表現と圧巻の五重奏が融合した、情熱と気品溢れるクリスマス・コンサートを満喫しよう!

(文 柴田克彦)

開催迫る!! ザ・シンフォニーホール12月の豪華ラインナップ

12/15 (Sun) 井上道義指揮 躍動の第九

2年ぶりの登場となる井上道義と大編成オーケストラと豪華歌手陣、会場全体が一体となる瞬間は見逃せません!

[指揮]井上道義 [管弦楽]大阪フィルハーモニー交響楽団
[合唱]大阪フィルハーモニー合唱団 [ソプラノ]高橋絵理
[アルト]小川明子 [テノール]西村悟 [バリトン]デニス・ビシュニヤ

アンダーソン:クリスマス・フェスティバル
ベートーヴェン:交響曲 第9番 二短調 [合唱付] op.125

2019.12/15(日) 2:00PM
A 7,000円 B 5,000円 C 売切 (税込)
[お問合せ]ABCチケットインフォメーション 06-6453-6000

発売中

指揮: 井上道義



★P28も併せてチェック!

12/22 (Sun) 第九 de クリスマス

百花繚乱のプログラムが毎年好評の「第九 de クリスマス」。
初演当時の編成とテンポで届けられる恒例“100人の第九”は圧巻!

[指揮]延原武春 [管弦楽]テレマン室内オーケストラ [合唱]テレマン室内合唱団
[ソプラノ]六車智香、渡辺有香 [アルト]渡邊由美子 [テノール]鹿岡晃紀 [バリトン]篠部信宏

【第1部】ベートーヴェン:交響曲 第9番 二短調 [合唱付] op.125 / 【第2部】テレマン:管弦楽組曲「ハンブルクの潮の満干」より / J.S.バッハ:無伴奏チェロ組曲 第3番ハ長調 より、「クリスマス・オラトリオ」より / モーツァルト:歌劇「魔笛」より「夜の女王のアリア」 / クライスラー:美しきロスマリン / クリスマスキャロル:「もろびとこぞりて」「神の御子は今宵しも」 ほか

2019.12/22(日) 1:30PM
A 5,500円 B 4,500円 C 売切 (税込)
[お問合せ]ABCチケットインフォメーション 06-6453-6000

発売中

指揮: 延原武春



★P28も併せてチェック!

12/27 (Fri) 大阪交響楽団 特別演奏会「感動の第九」

2019年に大阪交響楽団の正指揮者に就任した若き俊英 太田 弦の
指揮に期待。ソリストには関西二期会の中堅実力派が揃う。

[指揮]太田 弦 [ピアノ]池田洋子
[ソプラノ]四方典子 [アルト]靴谷栄里子 [テノール]二塚直紀 [バリトン]萩原寛明
[合唱]はばたけ堺!合唱団、大阪交響楽団感動の第九特別合唱団2019 [管弦楽]大阪交響楽団

モーツァルト:ピアノ協奏曲 第23番 イ長調 K.488 / ベートーヴェン:交響曲 第9番 二短調 [合唱付] op.125

2019.12/27(金) 7:00PM
S 6,000円 A 5,000円 B 3,500円 C 2,500円 オルガン 2,000円 D 1,000円(楽団WEB前売限定) (税込)
[お問合せ]公益社団法人 大阪交響楽団 072-226-5522

発売中

指揮: 太田 弦



★P28も併せてチェック!

12/28 (Sat) 21世紀の第九 ～第九とモーツァルト～

年の瀬には、ケン・シェによる熱いタクトで繰り広げられる「第九」。
モーツァルトの交響曲第1番とのカップリングも熱い。

[指揮]ケン・シェ [管弦楽]日本センチュリー交響楽団
[合唱]京都バッハ・アカデミー合唱団 [ソプラノ]北野加織
[アルト]靴谷栄里子 [テノール]二塚直紀 [バリトン]萩原寛明

モーツァルト:交響曲 第1番 変ホ長調 K.16
ベートーヴェン:交響曲 第9番 二短調 [合唱付] op.125

2019.12/28(土) 2:00PM
A 6,000円 B 4,500円 C 売切 (税込)
[お問合せ]ABCチケットインフォメーション 06-6453-6000

発売中

指揮: ケン・シェ



©E Miyoshi

The Symphony Hall Special Selection

年末の風物詩

「第九」

今年もザ・シンフォニーホールの12月を彩る

♪フロイデ シェーネル ゲッテル……年末に日本各地で演奏される「第九」。

ザ・シンフォニーホールでは、平成から令和へとバトンが繋がれた2019年を盛大に締めくくるに相応しい、
5つのコンサートで「第九」が披露されます。

2020年、ベートーヴェン生誕250周年イヤーに向けた迫力満点の歌声が、ホールに響きます。

「第九」とは?

ベートーヴェンが亡くなる3年前の1824年に発表した9番目にして最後の交響曲。文豪シラーの「歓喜の歌」を歌詞に持つ第4楽章があまりにも有名だが、長調と短調が何度も交錯する第1楽章も、劇的かつ緻密な第2楽章も、美しく崇高な第3楽章も、実に魅力的。本作の初演楽譜がサザビーズに

出品された際の紹介文でもあるが、まさに「人類最高の芸術作品」と言えるだろう。作曲家自ら指揮したウィーンでの初演は大成功を収めたが、当時ほぼ失聴していた彼は歓声が聞こえず、近くにいた女性歌手に教えられてようやく気づいたという。

「第九」が年末によく演奏される由縁とは?

第2次世界大戦終結後の1947年、日本交響楽団(現在のNHK交響楽団)が12月に3日連続で演奏し、大好評を博したことがきっかけと言われる。その後、戦後不況が続く中で、年末に安定した臨時収入を期待できることから、日本各地のオーケストラが本作を演奏するようになっていった。また、時

を同じくして「うたごえ運動」(社会運動や学生運動を背景に全国各地で合唱団を組織する運動)が活発化。そのアマチュア合唱団が「第九」を盛んに歌い、家族や友人が多数チケットを購入することから、年末の風物詩として定着するに至った。

(文 渡辺謙太郎)

12/14 (Sat) 関西フィルハーモニー管弦楽団「第九」特別演奏会

“一期一会”を掲げ、実力派ソリストと定期シリーズ初登場の村上寿昭のタクトで、またとない感動のシーンを奏でます。

[指揮]村上寿昭 [ソプラノ]並河寿美 [アルト]成田伊美
[テノール]糸賀修平 [バリトン]西尾岳史 [合唱]田辺第九合唱団

ベートーヴェン:序曲「命名祝日」 op.115
ベートーヴェン:交響曲第9番 二短調 [合唱付] op.125

2019.12/14(土) 2:30PM
S 6,000円 A 5,000円 B 4,000円 C 3,000円 (税込)
[お問合せ]公益財団法人関西フィルハーモニー管弦楽団 06-6577-1381

発売中

指揮: 村上寿昭



©Namiko Kitaura

平成から令和へバトンが渡された2019年から2020年へ。
東欧屈指の名門キエフ国立フィルとザ・シンフォニーホールが届ける
プレミアムな新春のステージ。



©Masashige Ogata

PROGRAM 2019.12/31

グリンカ:歌劇『ルスランとリュドミラ』序曲
モーツァルト:歌劇『フィガロの結婚』より「恋とはどんなものかしら」
モーツァルト:歌劇『ドン・ジョヴァンニ』より「お手をどうぞ」
マスネ:タイスの瞑想曲 ★
ビゼー:歌劇『カルメン』より「闘牛士の歌」
チャイコフスキー:バレエ音楽『白鳥の湖』よりワルツ
ロッシーニ:歌劇『どろぼうかざさぎ』序曲
サラサーテ:ツィゴイネルワイゼン ★
モンティ:チャルダッシュ
ワーグナー:楽劇『ワルキューレ』より「ワルキューレの騎行」
グノー:歌劇『ファウスト』より「金の子牛の歌」
ブッチーニ:歌劇『トゥーランドット』より「誰も寝てはならぬ」
ムソルグスキー(ラヴェル編曲):組曲「展覧会の絵」より
プロムナード〜バーバヤーガの小屋〜キエフの大門
ヴェルディ:歌劇『椿姫』より「乾杯の歌」(ほか) ★大谷康子(ヴァイオリン)

PROGRAM 2020.1/1

ロッシーニ:歌劇『セヴィリアの理髪師』より「陰口はそよ風のように」
ブッチーニ:歌劇『ジャンニ・スキッキ』より「私のお父さん」
ドニゼッティ:歌劇『連隊の娘』より「ああ友よなんと嬉しい日!」
ディ・カプア:オーソレミオ
チャイコフスキー:バレエ音楽『くるみ割り人形』より「花のワルツ」
ヴィヴァルディ:四季より 春 1楽章 ★
アラール:椿姫ファンタジーより「乾杯の歌」
サラサーテ:ツィゴイネルワイゼン ★
J.シュトラウス二世:ワルツ「春の声」
J.シュトラウス二世:ポルカ「雷鳴と電光」
ムソルグスキー(ラヴェル編曲):組曲「展覧会の絵」より
プロムナード〜バーバヤーガの小屋〜キエフの大門
デンツァ:フニクリフニクラ
ヴェルディ:歌劇『椿姫』より「乾杯の歌」
J.シュトラウス:ラデツキー行進曲 (ほか) ★大谷康子(ヴァイオリン)

※曲目は変更になる場合がございます。ご了承ください。

団の地元を代表する傑作、ムソルグスキーの組曲「展覧会の絵」の演奏が決定。もともとはピアノ曲だったものを後に音の魔術師・ラヴェルが管弦楽用に編曲した色彩豊かで緩急自在な音楽絵巻を、本場ウクライナの楽団のゴージャスなサウンドで心ゆくまで酔いしれよう。

そしてニューイヤーコンサートに並ぶのは、ヴェルディ「乾杯の歌」、ロッシーニ「セヴィリアの理髪師」より、チャイコフスキー「花のワルツ」など。さらに、本場ウィーン・フィルのニューイヤーコンサートでおなじみの名曲も新年を優雅に祝う調べとなって舞い降りるはずだ。

キエフ国立フィルとも相性
びつたりのヴァイオリニスト
大谷康子が登場!

あと今回はもうひとつ、世界的ヴァイオリニスト大谷康子がソリストとして登場するのも大きな楽しみ。今年は全国ツアーを大成功におさめ、テレビやラジオにも引っ張りだこの彼女は、20年がデビュー45周年のアニバーサリーイヤーにあたる。彼女はまた、15年にキエフ国立フィルの日本ツアーのソリストを務めた後、17年と18年にも共演を重ねており、相性はぴったり。今回はサラサーテ「ツィゴイネルワイゼン」やモン

ザ・シンフォニーホール カウントダウンコンサート 2019-2020

2019.12/31(火) 10:00PM

※18歳未満の方は保護者の同伴が必要です。

ザ・シンフォニーホール ニューイヤーコンサート2020

2020.1/1(水・祝) 3:00PM

【司会】堀江政生(朝日放送テレビアナウンサー)

【各日】SS 11,000円 S 8,800円 A 6,600円 B 4,400円(税込)

【お問合せ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニーホール

発売中

(文 渡辺謙太郎)

ザ・シンフォニーホール カウントダウンコンサート 2019-2020 & ニューイヤーコンサート 2020

指揮:ニコライ・ジャジューラ



名曲づくしのコンサート!

The Symphony Hall
Count Down&New Year Concert 2019-2020

今年は東欧の名門 キエフ国立フィルが登場!
「令和初」の年明けに祝福を奏めます。
新春にふさわしい華やぎや感動を体感しましょう!

今回の舞台に華々しく舞い降りるのは、ウクライナのキエフ国立フィルハーモニー交響楽団。1995年創設で、2005年に初来日以来、定期的に日本を訪れて、人気を博していることは周知の通り。持ち味は何と言っても色彩感と歌心の豊かさで、東欧を代表する実力派集団として認知度を高めている。

カウントダウンでは、誰もが知るオペラの名曲を多数演奏。ビゼー「カルメン」、ブッチーニ「トゥーランドット」、ワーグナー「ワルキューレ」など、作曲者の国籍や作品の舞台がいろいろ意味で異なるので、年末の雰囲気になさわしい華やぎや感動を異国情緒豊かに味わえることだろう。また、今回のカウントダウン時には楽

キエフ国立 フィルハーモニー 交響楽団

ウクライナの楽団の
ゴージャスなサウンドを
心ゆくまで

年の瀬と新年の門出を大好きな音楽とともに過ごす。そんな欧米風の音楽生活が関西圏でも着実に根づいてきたのは、まさに当公演の賜物と言えるだろう。約15年前まで行われ、2015年からパワーアップして復活した音楽の祭典・カウントダウン&ニューイヤーコンサートが、19年の年末と20年の年始も盛大に開催される!

4 5年連続開催!今年も“関西を元気に”!

The Symphony Hall
Count Down&New Year Concert 2019-2020

毎年、様々な名曲を楽しめる、ザ・シンフォニーホールの
カウントダウン&ニューイヤーコンサートを
振り返ります。



15年ぶりに復活した2015年末のカウントダウンコンサート

2015→2016



実力派歌手たちがバリから集結。プロジェクション・マッピングも加わり、より華やかなステージとなった。

2016→2017



2017→2018



この日のための特設ステージ、ザ・シンフォニーオーケストラの演奏も大盛況。

2018→2019



カウントダウンは「白鳥の湖」で新年を迎えた。バレエをフィーチャーした演出で大喝采。

「関西のお客様へ、新しい1年への活力となるような素敵な瞬間をお届けしたい!」
そんな想いのもと、2015年12月31日、15年ぶりに復活したザ・シンフォニーホールのジルベスターガラコンサート。これまで、本場ウィーンのニューイヤーコンサートながらの、クラシック、オペラ、バレエの名曲を豪華なキャストで届けてきました。お客様とホールが一体となる感動のカウントダウン、鏡割り、祝い酒のふるまいなどで新年の幕開けを祝うニューイヤーコンサート。
そこにはアットホームな雰囲気も漂い、回を重ねるごとに、ゆく年くる年を、ザ・シンフォニーホールで迎える人が増えてきました。「来年もここでカウントダウンを迎えるわ」「今年もたくさんコンサートに足を運ばせてもらおうよ」といったお客様からのうれしいお声をたくさんいただきました。
2019→2020は、ついに、東欧屈指のオーケストラ、キエフ国立フィルハーモニー交響楽団が登場!世界中から愛され続けている名曲を演奏し、素晴らしい瞬間の数々を与えてくれるでしょう。晴れやかな音楽の祭典をぜひお楽しみください。

令和初のカウントダウン&ニューイヤーコンサート。
今年も数々の感動のシーンをご用意しています。
ご期待ください!

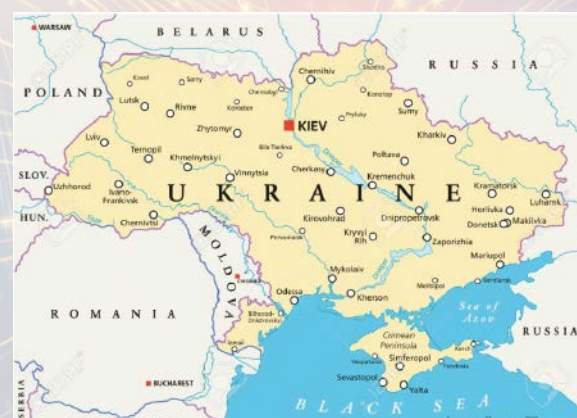


2 キエフとはどんな街?

The Symphony Hall
Count Down&New Year Concert 2019-2020

多くの芸術家を生み出した街でもあるウクライナ キエフ。
ここでは、今回の主役「キエフ」の街を紹介します。

ウクライナの首都 キエフは、約1500年の歴史を持つ東ヨーロッパ最古の都市。街には緑が溢れ、四季折々の美しい景色が楽しめます。
なんといってもキエフは、まるで絵本からおとぎの国が飛び出したかのようなダイナミックで美しい街に、観光客を魅了しています。聖ソフィア大聖堂ほか、ペチェールスカ修道院が世界文化遺産に登録されています。
世界に名だたる文学者や音楽家を数多く輩出している芸術が盛んな国でもあり、ウクライナ歌劇場を拠点としたバレエ、オペラのステージも世界的に称賛されています。



3 今年のカウントダウンは「展覧会の絵」!

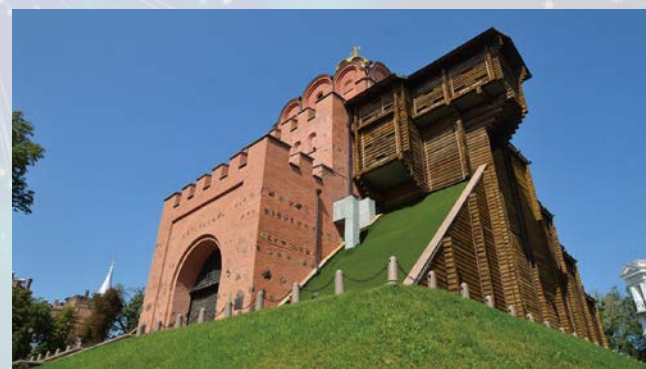
The Symphony Hall
Count Down&New Year Concert 2019-2020

《プロムナード》、《バーバヤーガの小屋》、《キエフの大門》
溢れ出る高揚感、キエフ国立フィルだからこそ奏でられる
雄大な演奏は、必聴!!

作曲家のモデスト・ムソルグスキー。(下段)ハルトマンが描いた「キエフの大門」



「展覧会の絵」は、1874年にロシアの作曲家 モデスト・ムソルグスキーによって作曲されたピアノ組曲です。この曲は、ムソルグスキーの親友で建築家・画家のヴィクトル・ハルトマンが急死した後、再開された、彼の遺作展覧会からインスピレーションを得て、親友を偲ぶように作曲されました。
ラストの「キエフの大門」は、ハルトマンが描いた、キエフに建設予定だった門のデッサンを見て作曲されましたが、実際に建設されることはありませんでした。(現在キエフにある大きな門は「黄金の門」といわれており、1982年に再建。「展覧会の絵」の「キエフの大門」そのものではない)
亡き親友が果たせなかった夢が曲の中で実現されているかのよう。ムソルグスキーとハルトマンの魂がひとつになるかのような壮大なクライマックスに感動が待っています。



キエフにある大きな門として有名な、「黄金の門」。11世紀前半に建てられたが、モンゴルの侵襲によって破壊。1982年に再建された。



ピアノ: 小林愛実

ショパン
ピアノ協奏曲 第1番

©Akira Muto

ヴァイオリン: 川久保賜紀

ブルッフ
ヴァイオリン協奏曲 第1番

©Yuji Hori

チェロ: 横坂 源

ドヴォルザーク
チェロ協奏曲

©ワーナーミュージック・ジャパン

Interview

3大協奏曲 2020

～次世代を担う未来の巨匠たち～

feature 川久保賜紀

“未来の巨匠”とオーケストラの豪華共演が
人気を博す、「3大協奏曲」。
開催に先駆けて、今回はソリストから、
川久保賜紀をフィーチャーし、
“コンチェルトで辿る自分史”を
テーマに語ってもらった。

初の協奏曲の舞台は、
ホールではなくシ・リゾット

ヴァイオリンを手にしたのは5
歳のときだったという。

「音楽好きの両親とロサンゼルスに住んでいました。姉がピアノを習っていて、私もつられて弾いていたところに、両親から『他に何か興味ない?』と連れられていったのがヴァイオリンとの出会い。習い始めた先生がとても素敵な方で、パーティーのような場を月に1回は設けて、生徒たちが互いに演奏を聴き合ったりするんです。和やかな雰囲気になれ、自然に楽器を続けていきました」
そんな彼女が、初めてオーケストラと協奏曲を弾いた機会は?
「ロサンゼルスのコルボーン音

楽院でロバート・リップセット先生に習っていた、10歳の頃。それも舞台がホールではなくて、テキサス州のエルパソに新しく完成したシ・リゾット(笑)。そのオーブニング・セレモニーでベリオの1楽章を演奏しました」

それから5年後の1994年にはタンゲルウッド音楽祭でジョン・ウィリアムズ指揮のもと演奏。さらにウィリアムズが指揮するサンフランシスコ交響楽団とチャイコフスキーの協奏曲を弾く。その後の彼女が歩んだキャリアにとっても、節目を飾る重要な1曲だ。

「1996年からドイツのリューベック音楽大学でザハール・ブロン先生に師事したのですが、最初にお会いしたのはその2年前。見ていただいたのがチャイ

初舞台となった、テキサス サンアントニオのシ・リゾットに出演する時のホテルにて。





撮影 寺坂ジョニー

コフスキーです。正味45分のレッスンで五線譜2段ぶんしか進みませんでした……。ひとつひとつの音符に、これだけ細かなことを積み重ねていくものか、と思いましたね」

ブロンのもとで積んだ研鑽が、2002年のチャイコフスキー国際コンクール最高位（1位なしの2位）という実りにつながる。

「『本選はチャイコフスキーとブラームスの協奏曲。コンクールって、全体を通してみると本当にマラソンでしたね（笑）。最終的には、『コンクールと思わずに、音楽をやればよいのだ』という先生の助言どおりだと実感しました」

「今まで手がけたコンチェルトで特に印象深いものは？」という問いに、彼女は2014年1月にザ・シンフォニーホールで下野竜也指揮大阪交響楽団と共演した、シェーンベルクの協奏曲を挙げた。12首技法で書かれた難曲である。

「今年の1月にも下野さんと広島で共演しています。1度目のときは準備に半年かけました。譜面を読み解くのがまず大変で、ときには『本当にこれで合っているの？』なんて思いながら（笑）……。そんな手順を踏みながら1つの曲を音楽にしていくなかで新鮮でしたし、舞台上オーケストラと一緒に弾いていて初めて『こんな音が聴こえてくるんだ！』と曲

2002年チャイコフスキー国際コンクール
ライヴ CDジャケット

の構造が見えてきたりもしました。貴重な経験になったと思います」

第1楽章でオーケストラが盛り上がるどころ、カッコいい！

2020年1月の「3大協奏曲」で取り上げるのはブルッフの第1番。ロマン派のヴァイオリン協奏曲でも屈指の傑作だ。去る9月にも彼女はパーヴォ・ヤルヴィ指揮NHK交響楽団と共演している。

「改めて良い曲だと実感しましたね。第1楽章でオーケストラが盛り上がるころなんて、カッコいい！って。確かにロマンティックな曲ですが、ソリストがあまりにも自由に振る舞い過ぎてしまうと、ちょっと違う世界になってしまいます。特に第1楽章などは、バスが刻む音に乗って歌うようにしないと……。終楽章もパルスの躍動感があって、そこにドイツ音楽的な重さも備わっています」

そのコンチェルトを弾く場となるのがザ・シンフォニーホール。

「音の一体感が素晴らしいホールですよ。今年8月に辻井伸行さんたちとシューマンのピアノ五重奏曲を演奏したときにもやっぱりそう思いました。そのステージの後半は辻井さんのソロでショパンのピアノ協奏曲第1番。私も

オーケストラに入って気分よく弾いちゃいました！間違えないよう注意しながら（笑）」

（文 木幡一誠）



[ピアノ] 小林愛実 [ヴァイオリン] 川久保陽紀
[チェロ] 横坂 源 [指揮] 飯森範親
[管弦楽] 日本センチュリー交響楽団

ショパン: ピアノ協奏曲 第1番 小短調 op.11
ブルッフ: ヴァイオリン協奏曲 第1番 ト短調 op.26
ドヴォルザーク: チェロ協奏曲 口短調 op.104、B191

2020.1/5 (日) 2:00PM

S 6,600円 A 5,500円 B 4,400円 (税込)

[お問合せ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

発売中



©飯島 隆

大植英次

Eiji Oue

Interview

「英雄の生涯」

“大阪”という街に、格別の愛着を示すマエストロ。
“ありえない組み合わせ”で英雄を讃える

「あり得ない組み合わせを
引っ提げて帰ってくる！」

「新たなことをしたい、と言え
ば、まず新曲の委嘱あたりを思
いつくかも……。でも私は、誰もが
知る名曲を、これまでで考えられ
ない組み合わせで聴いてもらい
たい。それも、日本で最高のコン
サートホールで。ここにまた、新
たな発見が必ずあると信じていま
す」。

ハノーファー北ドイツ放送フィ
ルをはじめ、世界各地の第一線
オーケストラのシエフを歴任して
きたマエストロ・大植英次は熱っ
ぽく語る。

10年にわたって音楽監督を務
め、現在は桂冠指揮者の地位にあ
る大阪フィルを率い、昨年3月に
「英雄」×「アルプス交響曲」、今年
1月にR. コルサコフ「シエラ
ザード」×ストラヴィンスキー「春
の祭典」と、凄演を連発した大
植。そんな黄金コンビが来年
1月、ベートーヴェン「交響曲第
7番」にリヒャルト・シュトラウス
「英雄の生涯」という、ありえない
組み合わせを引っ提げ、ザシン
フォニーホールへ帰ってくる。

ベートーヴェン生誕250年。
まず、彼こそが英雄ですね。

「例えば、将棋界では今、若い棋
士たちが従来の価値観にとらわ
れない取り組みをして、新風を吹



©s.yamamoto

かせています。私たち演奏家も、決まりきった手ではなく、全く新たな視点を持つべき。そのひとつがプログラミングであり、その妙が演奏会の醍醐味となりうるでしょう」と大植。「とはいっても、やみくもに組み合わせるのではなく、きちんと筋道が通ったプログラミングにしなければ」と言葉を重ねる。

今回のプログラムは、「英雄」をキーワードとして、想像力を巡らせた。「来年は、ベートーヴェン生誕250年。まず、彼こそが英雄ですね。この英雄がいたからこそ、クラシック音楽の伝統が連続し、数々の作品や演奏家が生まれてきた。『自分の信念を貫かなければ、音楽ではない』と言う意味のことも語っています。今回が私たちのシリーズ3回目ということもあり、彼の交響曲第3番が『英雄』であることも、隠れテーマに



(笑)。でも、私は交響曲第7番にこそ、英雄的な要素を強く感じるんです」

その理由を「今、どうしてA(イ音)でチューニングするか、ご存じですか? それは(西洋音楽の起源である)古代ギリシャ時代の最初の撥弦楽器、キタラ(小型ハープ)の中心に張られ、最も重要とされた弦がAだったから。中心の音が主音のイ長調を採る第7番こそ、実は最も英雄的ですよ」と説明。「ワグナーは、この曲を『舞踏の聖化』と評しました。踊りは、喜びであり、楽しみ。皆が幸せで、平和でなければ、踊れない。実にシンボリックで、ヒロイックですね」と付け加えた。

ここへ組み合わせるのが、R.シュトラウスの交響詩『英雄の生涯』だ。

「ベートーヴェン自身の人生と、この交響詩は、非常にシンクロしているのですよ。そもそも、この曲は変ホ長調で、ベートーヴェンの交響曲第3番と同じ。この作品で、『英雄』とは、シュトラウス自身のことも言われますが、だったら別の調性を選ぶでしょう。間違いない、意識していたはず。シュトラウスは、この作品にベートーヴェンという英雄像を投影したんです」

このホール、ここで礎を創った 朝比奈隆先生も私にとって英雄

大阪という街に、格別の愛着を示すマエストロ。大阪フィル音楽監督時代に始めた、自らプロデュースする毎年秋の音楽イベント「大阪クラシック」も、今年で14回目。格調高いクラシック音楽を、敷居を低く楽しんでもらう…。完全に根付きました。客席の距離が近くて、楽団員と聴衆が気軽に触れ合える。お年寄りの手助けをしたり、子供が泣けば誰かがあやしたりと、お客さん同士も助け合う。遂にはボランティア同士で結婚したカップルもできて、このあいだはキューピットの大植と自己紹介しましたよ」と嬉しそうに微笑む。

「よく『大阪にクラシックは、根付かない』という人がいます。それならなぜ、日本初の本格的なコ

ンサートホールが、ここに来たのでしょうか? ザ・シンフォニーホールが、まさに我が国の先達となりました。そして今や、色んな名演奏が染み込んで、さらに良い音に。このホールも、ここで礎を創った朝比奈隆先生も、私にとつては英雄です」

そう話す大植も英雄といえるだろう。「ザ・シンフォニーホールという宝物のような場所、おそろくベルリンでも聴けない、ここだけのプログラムを味わう。1人でも多くの人に、体験していただきたい」と力を込めた。

(インタビュー:文 笹田和人)

発売中

[指揮]大植英次

[管弦楽]大阪フィルハーモニー交響楽団

ベートーヴェン:交響曲 第7番 イ長調 op.92

R.シュトラウス:交響詩「英雄の生涯」op.40 TrV 190

2020.1/25(土) 3:00PM

S 7,150円 A 6,050円 B 4,950円(税込)

[お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール/公益社団法人大阪フィルハーモニー協会



外山雄三

Y U Z O T O Y A M A

89歳の新たな伝説

日本現役最高齢指揮者

ドヴォルザーク 交響曲 第8番&第9番

音楽に対する愛情と情熱
そこから生まれる説得力

2019年4月に『三大交響曲』で熱演した外山雄三が、再び大阪交響楽団を率いて、今度はドヴォルザークの交響曲第8番と第9番『新世界より』のタクトを執るというニュースが舞い込んできた！外山はこれまで大阪響とは、ベートーヴェンやブラームスの交響曲、チャイコフスキーをはじめとするロシア音楽の数々、外山の自作の作品などを演奏してきた。それだけに定期演奏会、名曲コンサートとは一線を画す、ザ・シンフォニーホールとのシリーズ『三大交響曲』に引き続き、ドヴォルザークの名曲交響曲2曲に果敢に挑戦する彼らに対し、聴く側も思わず期待に力が入ってしまうのは、仕方がないというものだ。

よくいろんな人に「外山に対する印象は？」と尋ねると、皆が口を揃えて「なにしろ耳がよい」という。そして次に出てくるのが「練習が厳しい」というものだろう。昔気質の職人指揮者の印象だろうか、はたまた楽隊の鬼軍曹といったものなのだろうか、そういうイメージが外山にはあるのだろう。ひと昔前までは、世界的にもそういった指揮者が多かったように思えるが、今では数

少ないひとりとも言える。

先日、外山&大阪響のリハーサルと演奏会を見学するチャンスに恵まれたが、リハーサルのそれは非常に厳しいものだった。それは外山の強固な（頑固な）といった方がいいかも）信念がオーケストラに行き渡っているかのようであった。しかしながら厳しさだけでなく、音楽に対して愛情と情熱をもって接しているからこそ、そこに生まれる音に説得力が



あるのだと感じた。それは実際に演奏を聴いた人には共感していただけるのではないかと思う。音楽そのものに対して真摯に取り組むからこそ、コンサートは圧倒的であり、強烈な印象が残る。外山のタクトによる演奏が感動を与えるのは、その厳しさのゆえではないか。実際に外山の指揮は凄かったし、聴衆はじつくりと余韻をかみしめながらそのコンサートを心行くまで味わうのだろう。

だからこそ、このコンサートを聴き逃すではない。だって日本現役最高齢指揮者 89歳を迎える外山雄三の新たな挑戦、そして伝説に立ち会える瞬間なのだから。

(文 三宅坂幸太郎)

[指揮]外山雄三 [管弦楽]大阪交響楽団

ドヴォルザーク:交響曲 第8番 ト長調 op.88

交響曲 第9番 ホ短調「新世界より」 op.95

2020.5/21(木) 7:00PM

S 6,600円 A 5,500円 B 4,400円 (税込)

[お問合せ]公益社団法人 大阪交響楽団 072-226-5522

[主催]公益社団法人 大阪交響楽団 / ザ・シンフォニーホール

先行予約:11/21(木) 一般発売:11/30(土)

巨匠 ギル・シャハム 初リサイタルがついに実現!! ギル・シャハム ヴァイオリン・リサイタル

揺るぎなき「現代の巨匠」が降臨

多彩で変幻自在。グラミー賞
はじめ、数々の賞にも輝く

鉄壁のテクニクと奥深い音楽性、艶やかな音色、そして現代人の感性へ直接的に訴えるスタイリッシュさ。1990年代に「若きヴァイオリン・ヴィルトウオーズ」と脚光を浴びたアメリカ出身のギル・シャハムも、今や40代後半に。鮮烈な印象はそのままだに、円熟と滋味が加わり、揺るぎなき「現代の巨匠」へと進化を遂げた。そんな世界的名手が、ザ・シンフォニーホールに降臨。バロックから現代に至る、広大な音楽の宇宙を構築する。

1971年にイリノイ州で科学者の両親のもとに生まれたシャハム。7歳で移住先のイスラエルでヴァイオリンを始め、10歳でイスラエル・フィルと共演してデビュー。ジュリアード音楽院でドロシー・ディレイらの薫陶を受ける一方、コロンビア大学では、数学も学んだ。現在はニューヨークを拠点にリサイタル活動のほか、ベリン・フィルやシカゴ響など世界中の第一線オーケストラと共演。グラミー賞はじめ、録音は数々の受賞にも輝く。

1999年製の銘器ストラディ

ヴァリウス「ポリニャック夫人」を駆り、紡ぎ出す音楽は、実に多彩で変幻自在。彼は、イメージの枠の中に作品を押し込めてしまうようなことを、決してしない。先入観を一切排して、いったん「解体」した上で、独特の感性で再構築を施し、まるで生まれたての音楽のようには昇華してみせるのだ。

例えば、大バッハの無伴奏作品ならば、流行りのバロック奏法へ安易に寄せるのではなく、時にセオリーと逆のボウイング(弓遣い)も厭わない。それでいて、生まれ出る音楽は一片のよどみもなく、流麗で清澄だ。かたや、クライスラーの小品から立ち上る気品。まるで、これらを愛奏した先達たちへのオマージュのよう。そして、こだわりをもたず取り上げているユダヤ人作曲家の作品からは、民族の誇りと、自分自身のルーツへの熱い想いが滲む。

今回のリサイタルは、ヴァイオリンリストにとつての「聖書」であり、全曲録音も大きな話題となったバッハの無伴奏作品から、「ソナタ第2番」を軸に。そして、30年近い親交のあるピアノの大手・江口玲が共演。フォーレの「ソナタ第1番」やメシアン「主題と変奏」、そのメシアンに師事した現代アメリカのスコット・ウィーラー(1952)による「ソナタ第2

番」、クライスラーの小品などの披露を予定している。

「私は勤勉であることを余儀なくされた。誰であろうと、私のように勤勉ならば、同じように成功するだろう」。バッハが晩年に語ったという言葉は、座右の銘としているシャハム。そんな謙虚で真摯な人柄は、音色や演奏にも具に反映している。彼がステージで紡ぐ音楽を聴くことは、その人柄に触れることでもある。

(文 笹田和人)

[ヴァイオリン]ギル・シャハム [ピアノ]江口 玲

メシアン:主題と変奏/スコット・ウィーラー:ヴァイオリン・ソナタ 第2番 「歌うトルコ人」/J.S.バッハ:無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第2番イ短調 BWV1003/クライスラー:ブニャーニの様式による前奏曲とアレグロ/フォーレ:ヴァイオリン・ソナタ 第1番 イ長調 op.13

2020.6/27(土) 7:00PM

S 8,800円 A 6,600円 (税込)

[お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

先行予約:11/21(木) 一般発売:11/30(土)



大人気「超絶シリーズ」の最新作!!

プロジェクションマッピング×パイプオルガン
超絶のボヘミアン・ラブソディ
QUEEN×ABBA

QUEENとABBA、実は
この組み合わせ、最強なのだ

「スター・ウォーズ」といった有名な映画音楽がパイプオルガンの荘厳な響きとプロジェクション・マッピングの華麗な映像世界でたんにできるザ・シンフォニー・ホールのコンサート「超絶のスター・ウォーズ」。

4年連続でチケット完売という毎夏恒例の人気企画だが、今夏、お送りするのは、昨年、日本でも社会現象化した洋画「ボヘミアン・ラブソディ」でおなじみの英バンド、QUEENと、スウェーデンのポップグループ、ABBAのヒット曲で綴る「超絶のボヘミアン・ラブソディ QUEEN×ABBA」だ。

3732本のパイプが紡ぐオルガンの多彩な音色が、クラシック音楽との親和性の高さで知られる両者のヒット曲に隠された真の魅力を我々に伝えてくれる。

クラシック音楽だけでなく、ロック音楽といった洋楽のファンの皆さんの中には、QUEENとABBAという組み合わせに疑問や戸惑いを感じる方もおられると思うが、実はこの組み合わせ、ある意味、最強なのだ。

1973年にシングル「炎のロックンロール」でデビューしたQUEEN。当時ハードロックの新星と呼ばれたが、その音楽性はレッド・ツェッペリンやディープ・パーブルのような他のハードロックのバンドとは根本から違っていた。

ビートルズやローリング・ストーンズをはじめ、当時の他の英バンドの多くは米の黒人ルーツ音楽であるブルースの影響を多分に受けていた。ところがQUEENの音楽の根底にあるのは欧州のクラシック音楽やオペラだった。

「キラ・クイーン」(74年)や「ボヘミアン・ラブソディ」(75年)で聞かれるクラシック音楽のような優美なメロディーや、オペラの如き壮麗なハーモニーは、数多のバンドの楽曲とは全く異なっていた。ロックバンドでありながら、最も「非ロック的なサウンドを追求したのが彼らだったのだ」。

そしてABBAの方も全く同じだ。1972年に結成され、翌73年にデビュー以来「マン・ミーア」(75年)や「ダンシング・クイーン」(76年)といった極めて良質のポップ曲を次々発売し、欧米で熱

狂的な人気を獲得したが、彼らの楽曲のメロディーは殆どクラシック音楽!

とりわけ日本でも人気の高い「マネー、マネー、マネー」(76年)という楽曲は、一聴すると普通のポップ曲だが、構成はほとんどオペラ。それをクラシック音楽でございませうとつたいぶって披露しなかったから大衆の支持を得た。

今回の公演では、欧州のロック音楽やポップスとクラシック音楽との切っても切れない関係が明らかになると共に、互いの持ち味が新たな形で楽しめること間違いなしだ。

(文 産経新聞大阪文化部 編集委員 岡田敏二)

[オルガン]石丸由佳

[QUEEN] I WAS BORN TO LOVE YOU★/WE WILL ROCK YOU/DON'T STOP ME NOW★/BOHEMIAN RHAPSODY
[ABBA] MAMMA MIA/DANCING QUEEN★/VOULEZ VOUS★/LAY ALL YOUR LOVE ON ME ※順不同 ★プロジェクションマッピング付き

2020.5/17(日) 2:00PM

全席指定 2,750円(税込) ※4才以上のお子様からご入場可能です。

※休憩なし。約60分間のコンサートです。

[お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

先行予約:11/21(木) 一般発売:11/30(土)

完売必至!

バッハ国際コンクール優勝

富田一樹 バッハ名曲 決定版

Interview

Kazuki Tomita Interview Vol.2
豊かな音色に秘められた飽くなき探求心

2015年4月に、リューベック音楽大学大学院へ入学し、留学

はと気づかれました。ドイツへ行かなくてはと気づかれました。

前の時代の音楽に特化した調律法(中全音律)で、とにかくハーモニが綺麗で美しい。それを聴いてしまうと、ドイツへ行かなくてはと気づかれました。

オルガンのハーモニーに魅了され、オルガニストへの道へ導かれた富田一樹。大阪音楽大学を卒業後、旅行で訪れた北ドイツ・ノルデンにある聖ルドゲリ教会のパイプオルガンを聴いて、すぐにドイツ留学を決意した。「バッハより少し前の時代の音楽に特化した調律法(中全音律)で、とにかくハーモニが綺麗で美しい。それを聴いてしまうと、ドイツへ行かなくてはと気づかれました。」

「バッハほどドラマチックなハーモニーを作る人はいないので、と思うぐらい、本当に計算され尽くしています。ハーモニーを大切に演奏していきたい」

ザ・シンフォニーホールで
出演してきた公演は全て満席



オルガン: 富田一樹

中の様々な出会いや経験が、富田の表現力に磨きをかけた。

「アルフリート・ガスト先生が務められている聖ヤコビ教会には、500年程前の古いオルガンがあり、先生のご厚意で色々弾かせていただきました。教会の荘厳な響きの中で、テンポ感や、どのようにアーティキュレーションをつければクリアに聴こえるかという研究をしていきました。聖ヤコビ教会だけでなく、色々なオルガンを弾かせてもらい、なかには常に『ブッシュ』と息もれしているようなオルガンも(笑)。ひとつひとつが、自分の糧になっています」

ヨーロッパの個性的な音色を聴いているうちに、それをどのように日本にあるオルガンで再現すればいいだろうかと探求を重ねるようになった。「ひとつのコンサートの中で、なるべく同じ音色を使わないように工夫しています。色々な楽器を知っておかないと音色もワンパターンになってしまう。現地の楽器を知っておくことは必要なのではないかと思っています。再現できない場合もありますが、このオルガンだからできる音色を考えます」。

演奏会前のリハーサルでは、レコーダーを後ろに置き、納得できるまで調整を繰り返す。讃美歌(コラール)など、歌詞の意味を深

くくみ取った上で音色を決めていなくてはいけないと語る。富田が奏でる豊かな音色を聴くと、瞬間にオルガンの新たな魅力に惹きこまれる。

来年3月21日に、待望の《バッハ名曲決定版》が、ザ・シンフォニーホールで開催される。これまで、富田が同ホールで出演してきたコンサートはすべて満席。「とても嬉しいです。オルガンはまだまだ知られていない楽器なので、毎回毎回オルガンを広めるチャンスを与えて頂いているという実感があります」と笑顔をみせる。

最終回は、日本人初の優勝に輝いたバッハ国際コンクールについて詳しく語っていただく。

(取材・文 金子真由)

発売中

[オルガン] 富田一樹

オール バッハ・プログラム: 前奏曲とフーガ イ短調 BWV543/おお人よ、汝の罪の大いなるを嘆け BWV622/「マルチェッロのアダージョ」(オーボエ協奏曲より第2楽章) BWV974-2/前奏曲とフーガ ハ長調 BWV531/トリオ ニ短調 BWV583/主よ、人の望みの喜びよ BWV147/パッサカリア ハ短調 BWV582

2020.3/21(土) 7:00PM

全席指定 2200円 (税込)

[お問合せ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール



日本センチュリー交響楽団 ×ザ・シンフォニーホール Vol.8

3B バッハ× ベートーヴェン× ブラームス



Interview



偉大な作曲家たちの名曲を気鋭のソリストを迎えて——
関本昌平が、特別な思い入れがあるブラームスを届ける。

2018年春のスタートから約2年。日本センチュリー交響楽団とザ・シンフォニーホールがタッグを組んでお届けするシリーズの新コンサートは、『3B』！ バッハ、ベートーヴェン、ブラームスという、ドイツの偉大な作曲家の名曲を、豪華ソリスト陣を迎えて届けていく。

ピアノ協奏曲で登場する関本昌平は、「特別な思い入れがある」というブラームスのピアノ協奏曲第1番を届ける。

「壮大なオーケストラパートからはじまり、ブラームス特有のど

こか暗く、どこまでも深いピアノの冒頭、そこからは現実を忘れて、ブラームスの心の中に連れ去られるような作品です」。

関本は過去に音源をリリースしたり、演奏会でも披露することも多く、ブラームスへの理解と愛がとて深い。また今回は、ザ・シンフォニーホールでは、2019年1月の「3大協奏曲」以来となり、信頼を寄せている日本センチュリー交響楽団との共演にも大きな期待を込める。

「大好きなブラームスの1番を素晴らしい日本センチュリーさんと共演できる！というだけで興奮します。どのようにオーケストラと一体となってブラームスの作品を表現できるのか、今からとても楽しみです！」

この公演で競演するヴァイオリニスト 郷古廉は、前号のインタビューで「関本昌平への質問」として、「ピアノ協奏曲第1番の第2楽章を弾いているときは、どういう気持ちになるのか、聴いてみたい」と話していた。その答えとは。「精神を全て音楽に委ね、祈るような気持ちで弾いています。ブラームスという近い存在に憧れているのか、遠い存在に憧れているのか、

のか、不思議な感覚です」と答える。

ステージではつねに「ああしよう、こうしよう」と考えて弾くのではなく、音楽に入り込んでいる」と語る関本。このコンサートでも、曲の解釈、ブラームスへ抱く熱い想い、それらすべてを美しい旋律に乗せて、素晴らしい演奏を聴かせてくれるに違いない。

最後に公演を楽しみにしている読者にメッセージを届ける。「素晴らしい日本センチュリーさんと一体となり、私がこれまで研究してきたブラームスの世界をお客様にも感じていただけたら嬉しいです」

発売中

[指揮] 飯森範親 [ヴァイオリン] 郷古 廉、松浦奈々
[ピアノ] 関本昌平 [管弦楽] 日本センチュリー交響楽団

J.S.バッハ：2つのヴァイオリンのための協奏曲 二短調 BWV1043 (Vn: 郷古廉、松浦奈々) / ベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.61 (Vn: 郷古廉) / ブラームス：ピアノ協奏曲 第1番 二短調 op.15 (Pf: 関本昌平)

2020.2/24(月・祝) 2:00PM

S 6,050円 A 4,950円 B 3,850円 (税込)

[お問合せ] センチュリー・チケットサービス 06-6868-0591

[主催] 公益財団法人日本センチュリー交響楽団 / ザ・シンフォニーホール

外村理紗 ヴァイオリン・ リサイタル

Interview

注目の高校生ヴァイオリニスト
大阪で初演奏、初リサイタル!



Risa Chakamura

撮影：鈴木久美子

こんなに大きいホールで
リサイタルできるなんて!

昨秋のインディアナポリス国際コンクールで第2位を獲得したヴァイオリニストの外村理紗は、現在高校3年生。学業と演奏活動の両立を続けている。

「学校が息抜きできる場所のひとつですね。お友だちとおしゃべりをしたり、おいしいご飯を食べるのも楽しみです。寝る直前に布団のなかでYouTubeを見たりするのも好きです」

音楽に恵まれた環境に育った彼女だが、いろいろと悩んだ経験も持つ。

「中学受験のために、ヴァイオリンを弾けなかった時期がありました。指は思うように動かなくなり、当時は将来のことも漠然としていて、何のために弾いているのだろうという時期もありました」

プロになろうと心に決めたのは、中学2年生で受けたリピンスキー国際コンクールだったという。

「初海外でしたが、そこで初めて音楽の友だちができて、自分も頑張ろうと思いました」

今は室内楽にも取り組み、アメリカへの留学を希望している。そんな外村に、ヴァイオリンの魅力を感じた。

「あたたかい芯のある低音から、繊細な高音、そしてガラス細工の



ような音まで幅広い音色を出せる楽器です。それから、最も心臓に近い場所に楽器を密着させますので、自分の気持ちが入りやすいのかなと思います」

来春、初めて大阪で演奏する。会場はザ・シンフォニーホールだ。「こんなに大きいホールでリサイタルできるなんて!とても楽しみです」

中学3年生で初リサイタルを経験した外村だが、リサイタルについては、「体力的に大変ですし、用意する曲もたくさんあります。でも、終わった後の達成感を味わえますし、お客さまとの距離が近く、お客さまとの交流の場だと思います」と語る。

共に舞台上立つのは、初共演の江口玲。プログラムは…。

「前半は小品でまとめました。」

[ヴァイオリン] 外村理紗 [ピアノ] 江口 玲

クライスラー：ブニャーニの様式によるプレリュードとアレグロ／中国の太鼓 op.3 / チャイコフスキー：ワルツ・スケルツォ op.34 / 憂鬱なセレナード op.26 / サラサーテ：スペイン舞曲集 op.23 第2番「サバテアード」／ツィゴイネルワイゼン op.20 / ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ 第7番 八短調 op.30-2 / フランク：ヴァイオリン・ソナタ イ長調 FWV8

2020.2/21(金) 7:00PM

全席指定 3,300円 (税込)

[お問合せ] ザ・シンフォニー チケットセンター

06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

発売中

子どもの頃に弾いていた曲もあります。馴染みやすいけれど奥の深い曲を選んでいきます。後半はソナタ。ベートーヴェンのソナタの中で、私の最も好きな第7番! 表情の変化が豊かで、しっかりとまとまっていて、ピアノとの絡みなども魅力です。フランクは、去年の12月にフランクのピアノ五重奏を弾かせていただく機会があり、さらにソナタも弾きたいなと思いました」

最後にリサイタルを楽しみにしてくださるお客様へメッセージをもらった。

「今回のリサイタルではなじみやすい曲からあまり知られていない曲まで集めてみました。バラエティに富んだ作品を聴いていただけるように準備しましたので、楽しんでいただければと思います」

(インタビュー：文 道下京子)

elegy 横坂源

チェロ・リサイタル

関西での支持もいっそう高まる横坂 源。
ザ・シンフォニーホールでの初リサイタルの快演に期待!

今春絶対に聴きたいリサイタル。
多彩な音色が咲き誇る

いま日本で、最もその動向が注目されているチェリスト、と言っても過言ではないだろう。2010年に『超難関』として知られるミュンヘン国際音楽コンクールで2位入賞を果たし、一躍、スターダムを駆け上がった横坂源。瑞々しい音色と堅実な技巧、精神性の高い秀演を重ね、国際的な活躍を続ける。そんな彼が、ザ・シンフォニーホールで、満を持しての初リサイタル。珠玉の名曲の花束に、俊英の創意が咲き誇る。

1986年生まれの横坂は、4歳で巨匠ミッシェル・マイスキーの演奏に触れて、「神様が弾いている」と強い感銘を受けたという。カナダ出身の名匠ジャン・ギアソン・ケラスに見出され、高校卒業後に渡独。シュトゥットガルト国立音大やフライブルク国立音大で学んだ。ミュンヘンでの快挙の前年には、全ドイツ学生音楽コンクールの室内楽部門で優勝するなど、受賞も数多い。現在はソリスト活動の一方、室内楽や数々のプロジェクトにも参加、最も多忙なチェリストの1人として活躍を続けて



いる。

「弦楽器にとって、とても響きがいい。精神的にも肉体的にも自由に演奏できるので、大好きです」と彼が絶賛する、ザ・シンフォニーホール。実は、2017年から「3大協奏曲」シリーズに出演を続けている。リハーサル後には必ずラニンングをして体調を整え、本番に備える真摯な姿勢は、ステージでの快演にも反映。関西の聴衆からの支持も、いっそう高まっている。来年1月の「3大協奏曲」では、ドヴォルザークの傑作を披露する予定だ。

今回のリサイタルは、2010年にジュネーヴ国際コンクール（ピアノ部門）を制した、萩原麻未との共演。横坂は「喜びに溢れ、時に切実なメッセージを発する作曲家のエネルギーを、皆様と分かち合えれば」と言う。核に据えるの



は、「暗闇から一筋の希望を追い求めて生まれた音楽」と彼が表現する、ラフマニノフのソナタ。また、コンサート・タイトルにも冠した「エレジー」は、フランスの才人ガブリエル・フォーレの佳品。ステージ前半は、この「亡き人へ向けた音楽」（横坂）を軸に。同じくフォーレの「夢のあとに」や、チェロの巨匠ガスパール・カサドによる「親愛なる言葉」、ファリャ「火祭りの踊り」など近現代から、シューマン「アダージョとアレグロ」などロマン派、さらにチェリストの聖典である大バッハの無伴奏組曲から第1番の第1曲「プレリュード」まで、「玉手箱のように、色々な性格の小品」（横坂）を披露する。

（文 笹田和人）

発売中

【チェロ】横坂 源 【ピアノ】萩原麻未

J.S.バッハ：プレリュード～無伴奏チェロ組曲 第1番より／カサド：親愛なる言葉／フォーレ：エレジー op.24／夢のあとに／ファリャ：火祭りの踊り／シューマン：アダージョとアレグロ op.70／ラフマニノフ：ヴォカリーズ op.34-14／チェロ・ソナタ 短調 op.19 ほか

2020.3/14(土) 7:00PM

全席指定 3,300円（税込）

【お問合せ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニーホール

クラシックから現代、自作、カバー曲まで。
燃え上がるような“情熱”を体現



川井郁子

シンフォニック コンサート

—情熱—

Interview

様々な感情をどうまとめるか。
身体表現の音楽は高揚します

「恋や祭のトランス、それに戦いの高揚感……。ジャンルではなく、切り切れない様々な感情をどうまとめようかと思った時、情熱という言葉を思いついたのです」と、公演のコンセプトを説明する川井。最近、彼女自身が「情熱」を感じる瞬間を「音楽舞台のことを考える創作活動の時間が一番ワクワクします。来年は、明智光秀の娘 細川ガラシャを題材にした舞台を上演予定で、その音楽や演出にも夢中になっています」と笑顔で語ってく

れた。

今回の演目は、クラシックから現代までカバーした多彩なラインナップ。クラシックは、ブラームス「ハンガリー舞曲第5番」、ファリャ「火祭りの踊り」、ストラヴィンスキー「ロシアの踊り」といった民族色豊かな作品が並ぶ。「東欧、スペイン、ロシアなどの土の薫りの音楽は、自分の音色に合っている気がして。また、この3作品はいずれも踊りの音楽。これまでバレエダンサーとの共演が多かったこともあり、こうした身体表現の音楽は高揚します(笑)」



ヴェルディ「アイーダ」、ビゼー「カルメン」などのオペラ作品も選ばれている。

「オペラ音楽は、ストーリーや登場人物に感情移入して演奏に没頭できるのが魅力。『アイーダ』を人前で弾くのは今回が初めてですが、数年前に新国立劇場で観たフランコ・ゼフィレリ氏の壮麗な演出の感動が今も忘れられません。あの時の舞台に自分がいるような気分です。演奏に臨みたいと思います」

現代で目を引くのは、やはりモノ「愛の讃歌」と、映画アルマゲドン「のテーマ曲」『ミス・ア・シング』だろう。

「エディット・ピアフの代名詞でもある『愛の讃歌』は、自分のその時々で感情で解釈が毎回変わる面白い曲。いつも心がけていることですが、歌に負けないように頑張ります。あと、私はロックも大好きで、エアロスミスが歌った『ミス・ア・シング』は特に(笑)。原曲

になるべく近いアレンジを考えているので、映画の名場面と感動を思い起こしていただければ嬉しいです」

そして今回最も注目なのが、川井の自作曲の「赤い月」だ。

「当初は和楽器とコラボしたCDの収録曲として作曲したのですが、今回はストリングス9人、ピアノ、パーカッション、そして私の12人編成でお贈りします。パーカッションとの共演は今回が初めてで、世界中の音楽に精通していることでもおなじみのクリストファー・ハーディさんをお願いしています。生のよさと、和洋折衷と、洗練を併せ持ったアレンジをお楽しみください！」

(インタビュアー & 文 渡辺謙太郎)

[ヴァイオリン]川井郁子

川井郁子: 赤い月/ブラームス: ハンガリー舞曲 第5番/マルグリット・モノー: 愛の讃歌/アンヘル・カブラル: 群衆/ファリャ: 「恋は魔術師」火祭りの踊り/ストラヴィンスキー: ペトルーシュカ「ロシアの踊り」/ミンクス: 「ドン・キホーテ」より ジブシーダンス/タイアン・ウォーレン: I don't want to miss a thing (『アルマゲドン』のテーマ曲)/ヴェルディ: 歌劇「アイーダ」より 凱行進行曲

2020.2/29(土) 2:00PM

S 5,500円 A4,400円 (税込)

[お問合せ] ザ・シンフォニー チケットセンター

06-6453-2333

[主催] アイケー・オフィス/ザ・シンフォニーホール

発売中



©井村重人

バンドネオンの若き巨匠・三浦一馬率いる17人編成の室内オーケストラ、東京グランド・ソロイスト(以下、TGS)。タンゴの革命児・ピアソラの音楽に新たな光をあてる活動を展開してきた彼らが、大阪初上陸。メンバーの三浦、石田泰尚、山田武彦にインタビューした前号に続くこの後編では、当ホールの音響の印象や、今回の共演者に寄せる期待、今後の展望などを語ってもらった。

ソロ、デュオ、アンサンブルなど、様々な編成によって当ホールで演奏を行ってきた山田は、その音響の魅力を次のように語る。

「音の伸び方と飛び方がこのホールとも違って、客席の隅々まで響き渡る。あと、舞台の高さが絶妙で、客席との距離が理想的なのも嬉しいですね。だから、演奏するのに無理な力がいらなくて、いつも自然体で音楽と向き合えるのが本当にありがたいのです」

今回の共演は注目の若手実力派チェリスト 横坂源と、地元関西から出演する多彩なメンバー。彼らに寄せる期待を石田に尋ねると。

「横坂さんとは、僕がコンサートマスターをしている神奈川フィルのソリストとして3回共演したこ

豪華メンバーで大坂初上陸！「ゴージャスで厚みのあるサウンドに、きつとびっくりして頂けると思う」

とがあるのですが、若々しく柔軟で何でもできる。それがのびやかな音色と音楽性にもそのまま表れているのが素晴らしいです。今回は首席奏者として全曲に出演するのに加え、彼のソロをフューチャーした『ル・グラン・タンゴ』(チェロの巨匠ロストロポーヴィチに捧げられた作品)もお届けするのでお楽しみに。また、ヴァイオリンの村瀬響さんや中屋響さんをはじめとした関西で活躍する10人の弦楽器奏者も参加してくれるので、いい意味で東京とは異なる演奏をお贈りできと思っています」

最後に、TGSの今後の展望と当ホールのファンへのメッセージを三浦が熱く語ってくれた。

「今回は昨年のキンテート(五重奏)から3倍以上の編成になるので、ゴージャスで厚みのあるサウンドに、きつとびっくりして頂けると思います。それに再来年はピアソラ生誕100周年の大切なアニバーサリー。来年はTGSもそれに合わせて様々な展開を予定していますので、今回はそのステップとなる公演として全力で取り組みます。皆さんぜひ聴きにいらしてください!!」

(取材:文 渡辺謙太郎)

[バンドネオン]三浦一馬 [ヴァイオリン]石田泰尚
[コントラバス]高橋洋太 [エレキギター]大坪純平 [ピアノ]山田武彦
[パーカッション]石川 智 [ゲスト・チェロ]横坂 源 ほか

ピアノ:フーガと神秘/アディオス・ニーノ/プエノスアイレスの冬/ビオレンタンゴ/天使の死/プエノスアイレスの夏/悪魔のロマンス/ウンデルタンゴ/ル・グラン・タンゴ/コルドバへのオマージュ/バルタリート

2019.12/21(土) 2:00PM

S 6,000円 A 5,000円 (税込)

[お問合せ]テレビマンユニオン音楽事業部 03-6418-8617

[主催]テレビマンユニオン/ザ・シンフォニーホール

発売中



ニューイヤー祝祭コンサート 2020 『カルメン』『トスカ』『椿姫』『蝶々夫人』

今回も魅せます!! オペラアリアにバレエを添えて豪華に!

[リリック・ソプラノ]ヴェラ・ギルギノーヴァ [ドラマティック・ソプラノ]ラドス
ティナ・ニコラエヴァ / 福田祥子 [アルト]エレナ・チャヴダローヴァ [テノー
ル]ミハイル・ミハイロフ [ソプラノ]紙谷一帆 [バリトン]大谷圭介 / 松澤政也
[ヴァイオリン]吉田侑記 [ナビゲーター]鈴木美智子 [指揮]山山俊吾 [管弦
楽]ニューイヤー祝祭オーケストラ [バレエ]カンパニーでこぼこ

『カルメン』『トスカ』『椿姫』『蝶々夫人』 オペラ・ダイジェスト/ドヴォルザーク・ヴァイオリンと管
弦楽のためのロマンス ヘ短調 op.11

2020.1/3(金) 2:00PM

S 6,000円 A 5,000円 B 4,000円 (税込)

[お問合せ] ミュージック・アート・ステーション 06-6836-7067 / マック・アート・プロジェクト
06-6367-1773 [主催]国際交流協会 [共催]ザ・シンフォニーホール

発売中



今年の祝祭ステージの開幕はオペラ「カルメン」から。ブルガリアのアルト歌手エレナ・チャヴダローヴァが歌う前奏曲にバレエの群舞を加えた演出により、舞台を情熱的なスペイン色に染める。「ハバネラ」は、英国スコティッシュバレエ団で活躍したバレリーナが妖しく舞い、「アラゴネーズ」の群舞など、熱い表現で盛り上げる。「トスカ」では世界の劇場で活躍している福田祥子が揺れる女の性の強さを歌う。また、「椿姫」ではヨーロッパで人気を誇るヴェラ・ギルギノーヴァがヴィオレッタの心の機微を悲しく歌い上げ、アルフレードはブルガリアのパヴァロッティと評価され注目を浴びるミハイル・ミハイロフが演じる。「蝶々夫人」では国立ブルガリア歌劇場のプリマのラドスティーナ・ニコラエヴァが「蝶々さん」を驚嘆する声量と演技で涙を誘うだろう。

これら4つのオペラ作品の名アリアをドイツ・バイエルン歌劇場で活躍した西田博をコンサートマスターに迎えて、ロシアでオペラとバレエを務めた指揮者 山山俊吾がタッグを組む。プログラムは去年よりも増して贅沢な内容となっている。ナレーターによるストーリーや歌詞の解説もあり、オペラに詳しくない方にも分かりやすくお届けする。「カンパニーでこぼこ」の高貴で華麗なバレエや新進鋭のヴァイオリニスト吉田侑記によるドボルザークの「ロマンス」にも注目を。

長富彩 ピアノ・リサイタル Vol.4 『リスト、超絶名曲選!』

“特別すぎるほど『好き』”
リストの華やかな表と裏を奏でる

[ピアノ]長富彩

オール・リスト・プログラム: タランテラ / メフィスト・ワルツ第1番「村の居酒屋での踊り」 / スペイン狂詩曲 S.254 / ハンガリー狂詩曲 / ピアノ・ソナタ 短調 ほか

2020.1/11(土) 7:00PM

全席指定 3,000円 (税込)

[お問合せ] テレビマンユニオン音楽事業部 03-6418-8617

[主催] テレビマンユニオン / ザ・シンフォニーホール

発売中

Interview



ピアニストの長富彩が、ザ・シンフォニーホールで4回目のリサイタルを開く。これまで同ホールでは、毎回、挑戦を掲げてプログラムを組んできた。今回は、フランス・リストの華やかな表と裏の表情に迫る。

「高校生の頃からリストは特別すぎるほど『好き』でした。作品にはハンガリーの広大な土地の香りが漂ってきて、地底から湧き上がってくるようなリズム感がある。テクニクは難しく苦勞しますが、自然に表現できる作曲家です」と微笑む。

超絶技巧としての一面が強調されがちなりリストだが、琴線にふれるのは人間愛に満ちた旋律だ。

「華やかで女性に囲まれ人気がありましたが、年齢を重ねるうちに、自分の心を神にささげるような人生を歩むようになりました」。

本公演では、そんなリストの両面を感じられるプログラムが並ぶ。

「前半はリストが熱狂的な喝采を浴びている当時の場面が、お客様が想像できるように演奏したいです。後半は神に捧げたリストの深みを届けた。ソナタ・短調は約30分の曲で、ひとつの物語が映画を観ているように浮かんでくる。暗い中にも夢見るような美しい場面があり、リストはそこに辛い人生の中で求めていた光を描いたのではと想像しています」

長富の演奏を通じて、リストと客席が交差する瞬間が待ち受けている。

(取材・文 金子真由)

クラシック×ジャズ2020 細川千尋プレイズ・ビル・エヴァンス ラヴェル・ジャズ

ジャズ×クラシック＝細川千尋の真骨頂
今回も近年力を入れているトリオで登場！

[ジャズ・ピアノ] 細川千尋 [ベース] 井上陽介
[ドラム] セバスティアン・カプティン

パッパ＝グノー：アヴェ・マリア／ジョゼフ・コスマ：枯葉／ビル・エヴァンス：ワルツ・フォー・デビー／アレックス・ノース：ラブ・テーマ・フロム・スパルタカス／サド・ジョーンズ、細川千尋：“A Child Is Born”の主題による“ジャズ”変奏曲／細川千尋・黎明-Reimei-／ラヴェルの主題による“ジャズ”狂詩曲 ほか

2020.2/8(土) 7:00PM

全席指定 4,000円 (税込)

【お問合せ】テレビマンユニオン音楽事業部 03-6418-8617

【主催】テレビマンユニオン／ザ・シンフォニーホール

発売中

Interview



日本期待の若手実力派ジャズ・ピアニスト細川千尋が、来年2月に当ホールで4度目の公演を行う。

ビル・エヴァンスとラヴェルを組み合わせたプログラムなので、ジャズとクラシックを縦横無尽に表現する彼女の真骨頂を味わえることだろう。

「エヴァンスの音楽は、10代の頃はあまりにも美しい音色が印象的でしたが、近年は実は精妙にスウィングしていることに気づいて。それに、彼がクラシックから出発したジャズ演奏家であることも自分と重なって親近感が湧くようになりました。そんなエヴァンスの音楽と相性がいいと思って選んだのが、ジャズの要素を様々な形で音楽に取り込んだ、印象派のラヴェルなんです」

細川は今年9月にエヴァンスを題材にした最新盤『My Variations』を発表する。

今回はそのレコーディングメンバーでの初の大阪公演となるので、親密かつ洗練されたセッションを新たな形で堪能できそうです。

「録音を通してビル・エヴァンスと向き合う中で、このクラシック×ジャズのシリーズで、ビル・エヴァンスも敬愛した作曲家であるラヴェルを取り上げようと思いました。井上陽介さん(ベース)、セバスティアン・カプティンさん(ドラムス)とともに、ライブならではの特別な時間をお届けします！」

(取材・文 渡辺謙太郎)

荒庸子 チェロ・リサイタル 2020 思い出がいっぱい 珠玉のシネマ名曲SELECTION VOL.6

6年目を迎える大人気リサイタル。「音楽を通して一緒に映画の旅をしましょう」

Interview

[チェロ] 荒庸子 [ピアノ] 山田武彦

メンケン：『アラジン』より「ホール・ニュー・ワールド」／『美女と野獣』よりテーマ曲／チャップリン：『ライムライト』より「エターナリー」／ロータ：『ゴッドファーザー』より「愛のテーマ」／マンシーニ：『ひまわり』より「愛のテーマ」／スタイナー：『風と共に去りぬ』より「タラのテーマ」／ハーウィッツ：『ラ・ラ・ランド』より「アナザー・デイ・オブ・サン」／サン＝サーンス：動物の謝肉祭より「白鳥」 ほか

2020.2/29(土) 7:00PM

S 3,300円 A 2,200円 プレミアムシート 4,400円 (税込)

※プレミアムシート【S席+スパークリングワイン1杯(開場・休憩時に2Fカフェにてご利用可能)】

【お問合せ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】カノン・ミュージック／ザ・シンフォニーホール

発売中



チェリストの荒庸子による「思い出がいっぱい珠玉のシネマ名曲」は、来春で6回目を迎える。

「子どもの頃から映画が大好きで、初めて見た映画は『サウンド・オブ・ミュージック』という荒は、これまでも、幅広い映画音楽を紹介してきた。

「素晴らしい映画には名曲がありますよね。ある映画監督のお話では、映画全体の7割が音楽で、2割が演者、1割がストーリーで成り立っているそうです。シーンが浮かんだり、演者の姿が蘇ってきたりと、音楽のパワーはとても大きいのです」

プログラムには、クラシックの小品も組み込まれており、「クラシック音楽曲のすばらしさを、お客さまにも知っていただくきっかけになればと考えました」と語る。

ザ・シンフォニーホールについて。

「世界でも3本の指に入る素晴らしいホール」と語る。「初めて舞台に立った時、袖からステージ中央まで歩くのがとても長く感じましたが、最近それが心地よいです。響きも暖かく、お客様との距離が近く感じられます」

シリーズ6回目の意気込みは？

「1950年代から今年映画化されたアラジンの音楽まで、三世代の方にお楽しみいただける幅広いプログラムです。ご家族でも、カップルでも、お友だち同士でも、お一人でも、ぜひお越しください。映画音楽を通して、私と一緒に映画の旅をしましょう」

(文 道下京子)

音楽を愛する団体が集い、夢を発信する 「ザ・シンフォニーホール」。

日本有数の歴史を誇る「京都大学交響楽団」の情熱的なロシア・プログラム。管楽器や打楽器づくりに携わり楽器を知り尽くす「ヤマハ吹奏楽団」の創立60年記念演奏。注目の公演を控える2楽団からのメッセージをお届けします!

♪2019年11月からの開催予定公演♪

関西大学応援団吹奏楽部
第58回定期演奏会



2019. 12/7 (土)

関西学院
関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール



2019. 12/17 (火)

大阪市立大学交響楽団
創立90周年 第65回記念定期演奏会



2019. 12/25 (水)

龍谷大学吹奏楽部
第46回定期演奏会



2019. 12/26 (木)

京都大学交響楽団
第206回定期演奏会大阪公演



2020. 1/8 (水)

関西シティフィルハーモニー交響楽団
第68回定期演奏会



2020. 1/26 (日)

創立60年記念
ヤマハ吹奏楽団特別公演 奏でる匠のオト



2020. 2/16 (日)

早稲田摂陵高等学校ウィンドバンド
第61回定期演奏会



2020. 2/22 (土)

トヨタコミュニティコンサート
創立50周年記念



2020. 3/20 (金・祝)

近畿大学附属高等学校吹奏楽部
第47回 定期演奏会



2020. 3/30 (月)

MESSAGE

京都大学交響楽団

発売中

今回の定期演奏会では、日本を代表する指揮者である尾高忠明先生を41年ぶりに客演指揮にお迎えします。一曲目の「交響管弦楽のための音楽」を作曲した芥川也寸志は、ロシアに縁の深い邦人作曲家です。尾高先生とも親交があり、より曲の魅力を感じて



京都大学交響楽団
第206回定期演奏会 大阪公演
[客演指揮] 尾高忠明 [管弦楽] 京都大学交響楽団
芥川也寸志: 交響管弦楽のための音楽
ボロディン: 「イーゴリ公」より「だったん人の踊り」
チャイコフスキー: 交響曲 第6番「悲愴」

2020. 1/8 (水) 7:00PM S 1,500円 A 1,000円
[ご予約] S席 (担当: 山中) 080-3032-4580
A席 ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[お問合せ] 京都大学交響楽団 075-751-9412

京都大学交響楽団は、1916年に創立された日本有数の歴史を誇るオーケストラです。創立以来、年二回の定期演奏会を欠かすことなく開催し、今回で206回を数えます。定期演奏会以外では、毎年夏の演奏旅行、ジョイントコンサート、五年に一度の東京公演等、積極的な演奏活動を行っています。アマチュアオーケストラならではの、時間と情熱をかけた音楽づくりを目指し、合奏や個人練習等日々の練習に励んでおります。

世界最高峰の音響をもつザ・シンフォニーホールでこそつくるとの出来る音楽をお届けいたします。京都大学交響楽団103年目の演奏会に、ぜひお越しください。

MESSAGE

ヤマハ吹奏楽団

発売中

大勢の皆さんに演奏を聴いていただきたいということでスタートした大阪公演も今回で3回目となりますが、これまでもコンサートでは温かい拍手と歓声で迎えていただき、来年再び大阪に戻ってこれることをたいへん嬉しく思います。さらに、創立60年を記念する年に日本の



ヤマハ吹奏楽団 創立60年記念特別公演
奏でる匠のオト

[指揮] 須川展也 [吹奏楽] ヤマハ吹奏楽団
長生 淳: 交響曲 第3番「四季連禱」ほか

2020. 2/16 (日) 2:00PM
S 2,500円 A 2,000円 B 1,500円
[ご予約] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[お問合せ] オーパス・ワン 042-313-3213

ヤマハ吹奏楽団は2020年で創立60年を迎える静岡県浜松市の企業バンドです。メンバーの多くは実際にヤマハの管楽器や打楽器づくりに携わっており、なかには自身で製作した楽器で演奏する団員もいる、まさに楽器を知り尽くした「匠のバンド」ともいえます。主な活動は浜松市での自主公演や2年に一度開催する大都市公演のほか、全日本吹奏楽団コンクールでは34回の金賞受賞を記録しています。

今回の記念公演では、これまでヤマハ吹奏楽団が作曲や編曲を委嘱してきた作品の数々をご用意した、ここでしか聴くことのできないプログラムになっています。1つのコンサートで交響曲から協奏曲、ディズニー作品まで幅広く楽しんでいただけるのが吹奏楽の醍醐味のひとつだと思いますので、是非お気軽にお越しください。